

漁況情報 No.7

平成 19 年 7 月 12 日 発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

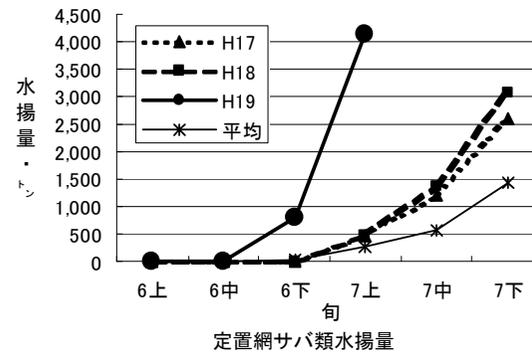
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

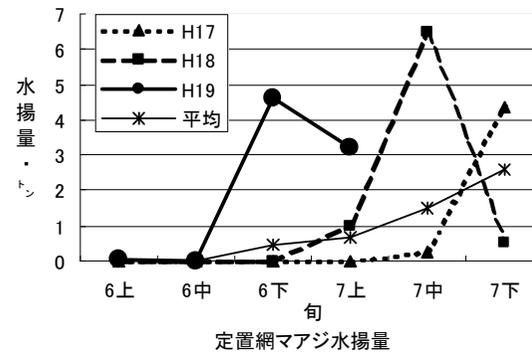
サバ類、マアジ(定置網)、スルメイカ(いか釣り)の水揚げは好調です。
カタクチイワシ(定置網)の水揚げは低調です。

1. 水揚げ状況

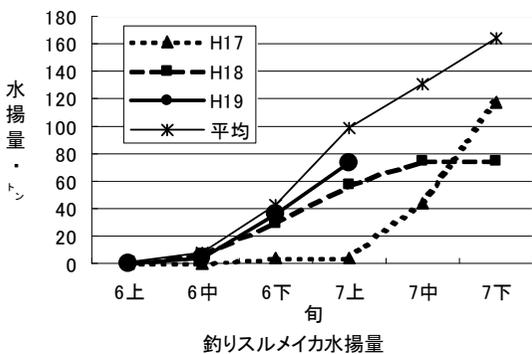
(1) サバ類(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、7月上旬の水揚げ量は4,137トン(前年同期の8.9倍)でした。また、7月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は251トンで、旬水揚げはその16.5倍でした。年累計は5,001トン(前年同期の10.4倍)です。



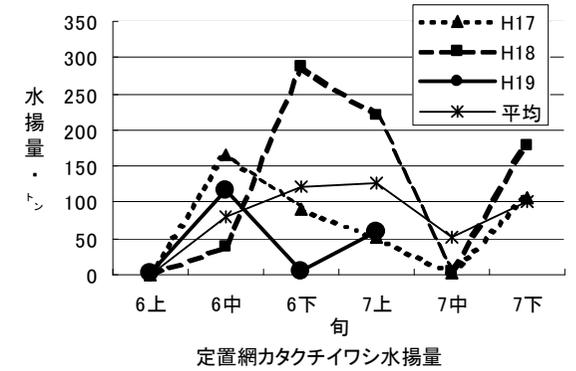
(2) マアジ(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、7月上旬の水揚げ量は3.2トン(前年同期の3.2倍)でした。また、7月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は0.7トンで、旬水揚げはその4.9倍でした。年累計は82.3トン(前年同期の82.1倍)です。



(3) スルメイカ(いか釣り)は大船渡を中心に水揚げがあり、7月上旬の水揚げ量は73.2トン(前年同期の1.2倍)でした。また、7月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は99.0トンで、旬水揚げはその73.9%でした。年累計は115.2トン(前年同期の1.2倍)です。



(4) カタクチイワシ(定置網)は水揚げがまとまらず、7月上旬の水揚げ量は59.9トン(前年同期の27.1%)でした。また、7月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は126.2トンで、旬水揚げはその47.4%でした。年累計は217.9トン(前年同期の39.8%)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎マアジ精密測定結果

7月9日に釜石魚市場(定置網)に水揚げされたマアジの精密測定を行いました。尾叉長は19~29cmの範囲で、オス、メスともに24~25cmが主体となっていました。

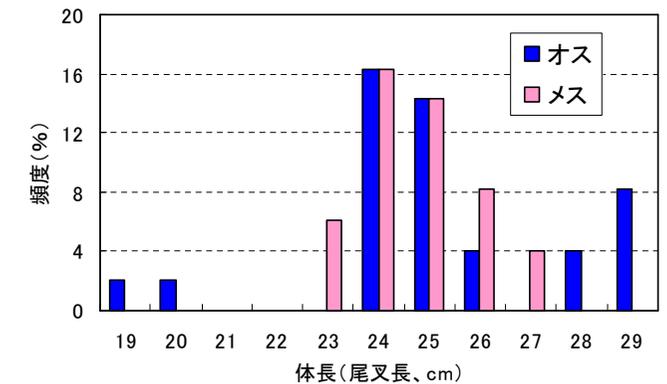
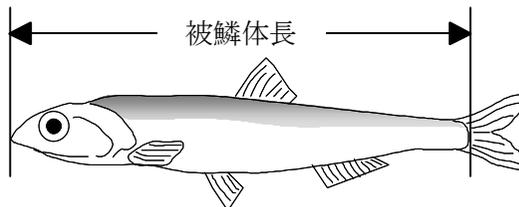


図1 マアジ尾叉長組成(定置網、釜石魚市場)

◎カタクチイワシ精密測定結果

7月9日に釜石魚市場(定置網)に水揚げされたカタクチイワシの精密測定を行いました。被鱗体長は12~14cmの範囲で、オスは12.5cm、メスは13cmにモードがあり、前年(範囲:11~14cm、モード:オス12cm、メス12.5cm)よりやや大型でした。



被鱗体長：頭の前端から鱗に覆われている部分の末端までの距離

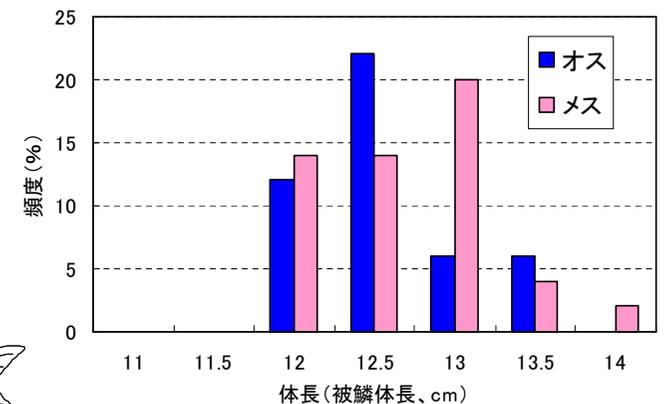


図2 カタクチイワシ被鱗体長組成(定置網、釜石魚市場)

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもお活用下さい。